

コロナ下の渡英紀行（2）

1. 帰国準備

日本への入国後の隔離待機は解除されていたものの、出国72時間前以後のPCR検査陰性証明が必須となっています。また、入国時のFast Trackなる検疫検査に対応するために、スマホにMY SOSなるアプリでの事前登録も求められていました。

..

まずはPCR検査を受けねばと検査機関をインターネットで検索、ヒースロー空港内検査場まで行けば日本政府指定書式での証明書発行は可能であろうとは思っているものの、もっと近くでと、探した街中の検査機関にインターネット予約。24時間での検査結果報告として£49の検査費用（約8000円、安いのかな?）も振込。

同社のホームページには「殆どの国の書式に対応可能」とあるものの、果たして日本政府指定書式で作成してもらえるのか、予約はしてみたものの不安が残り、日本から持参した政府指定書式と記入要領をじっくり眺めることに。まだ出国まで時間に余裕があるので、もしダメだったら空港まで行こうと腹を括る。

ところが、検査数日前から酷い咳が出始めてしまい、これがなかなか止まらない! さてはマスクなしで街中闊歩を楽しんでいた報いのコロナ感染か? もし陽性だったら予定通りの帰国ができない、航空便の変更や帰国後の予定変更連絡もしなければ、検査前夜は不安でゆっくり眠ることができないまま、予約時間に検査場へ。

バス通りに面した、いかにも急拵えの検査場は閉店した店舗を転用したものか? 最も日本でも駅前の無料検査場は仮設のテント、同じようなものなのではないでしょうか?

ドアを開けるとそこが待合室で、折りたたみ椅子が20脚ほど並んでいるだけ。その先に、テーブルがあって受付のお兄さんが一人、更にその奥に、ブルーのカーテンで仕切ったサン

プル採取場が3つ並んでいる。こんなところで大丈夫なのか、まともな検査・書類を作成してもらえるのか甚だ心配に。待合室に座っていた女性の受付が終わりカーテンの中に消えると、いよいよ我々の順番。受付のお兄さんから渡された申込書に氏名、国籍、住所、生年月日等記入、お兄さんがパスポートと照合する間、我々が必要な書式で対応可能かと証明書用紙（右参照）を見せながらしつこく聞くも、証明書はメールで送られるから大丈夫と言うだけで一向にラチがあかない。そのうち、防護服・防護眼鏡・手袋姿の黒人のお兄さんがカーテンの奥から顔を出して、我々に入室を指示。不安を抱えながら椅

 Quarantine Station,
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japanese Government

COVID-19に関する検査証明
Certificate of Testing for COVID-19

交付年月日
Date of issue: _____

氏名 _____ 生年月日 _____
Name _____ Date of Birth _____

上記の者のCOVID-19に関する検査を行った結果、その結果は下記のとおりである。
よって、この証明を交付する。
This is to certify the following results which have been confirmed by testing for COVID-19 conducted with the sample taken from the above-mentioned person.

採取部位 Sample (下記いずれかをチェック/Check one of the boxes below)	検査方法 Testing Method for COVID-19 (下記いずれかをチェック/Check one of the boxes below)	結果 Result	検体採取日時 Specimen Collection Date and Time	備考 Remarks
<input type="checkbox"/> 鼻咽喉ぬぐい液 Nasopharyngeal Swab	<input type="checkbox"/> 即時増幅検査 (NAAT: PCR, LAMP, TMA, TBC, Smart Am, XDR, Isat generation sequencing)	<input type="checkbox"/> 陰性 Negative	Date (yy/mm/dd) / /	
<input type="checkbox"/> 鼻咽喉ぬぐい液* Nasal Swab	<input type="checkbox"/> 抗原定量検査* Quantitative antigen test (QCLIA/ELISA)	<input type="checkbox"/> 陰性 Positive →入国不可 No entry into Japan	Date (yy/mm/dd) / /	
<input type="checkbox"/> 鼻咽喉ぬぐい液と咽 頭ぬぐい液の混合 Nasopharyngeal and Oropharyngeal Swabs				

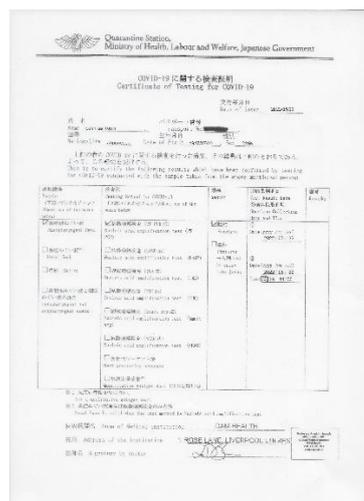
* 抗原定量検査ではない。
* is a quantitative antigen test.
※ 鼻咽喉ぬぐい液検査は即時増幅検査のみ有効
Nasal Swab is valid when the test method is Nucleic acid amplification test (NAAT).

医療機関名: Name of Medical institution: _____

子に座ると、「口を開けて」と言って綿棒で喉の奥をグリグリして“*That’s all, finish*”と言うではないか！これは日本政府指定のサンプル採取方法に合致する？これで日本への証明ができるのかと再度受付のお兄ちゃんに問い糺すも、技術的なことは分からない、疑問があるなら本部にメールで確認しろとけんもほろろ。仕方ない、検査結果を待つことにして帰宅することに。

咳が止まらないことから「陽性」ではないか、また、あのサンプリング方法で大丈夫なのか、悶々としながら検査結果が来るのを待っていたところ、夜半にきたメールで「陰性」判定。ほっとするも、証明書式は英国内向けでがっかり。まあ「陽性」でなかったことに安堵しながらも、明日改めて空港まで行って検査を受けることになるのか、£49が無駄になってしまったのかと思いながら浅い眠りに落ちました。

翌朝、メールボックスを開けると検査会社からもう一通のメールが。早速開けてみるとこれぞ待っていた日本政府指定書式での「陰性証明」、やっとこれで予定通り帰国できると胸を撫で下ろすことができた次第です。それにしてもサンプリング方法が指定されている方法に合致しているのか…、疑問は残りつつも公式証明書が入手出来て一安心でした。



夜半に届いた、国内向けの証明書

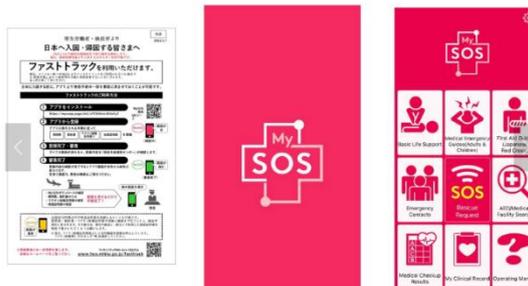
朝方に届いた、日本向けの証明書

(文末に、拡大図を添付しています)

出国72時間前の陰性証明が手に入ったので、次はMY SOSアプリへの登録です。

これは、厚生省が入国時の健康調査、入国後の所在追跡用として、出国6時間前までに登録を求めているものです。

MY SOS アプリをダウンロードして、質問票に必要事項記入(氏名、パスポート No、滞在国内等)、誓約書に署名をしてから、「ワクチン接種証明書」「72時間前陰性検査書」を順に登録していきます。やっとここで、「ワクチン接



種証明書」を使うことができました。



全ての登録が終わり、登録した内容が承認されると MY SOS 画面の色が緑に変わります。

これで、出発準備は完了、羽田空港での検疫検査が簡略化されることになりましたが、さて、どの程度の簡略なのか、どのくらいの時間がかかるのか、まだまだ疑問・不安が付きまとっていました。

ところで、この3色、街中の信号機と同じ配色ですね。

厚生省ホームページに拠ると、黄色は、検査証以外の登録が完了している状態で空港での書類提示必要とのこと。また、赤は事前登録が完了していない状態で Fast Track を利用できないような表現です。では、スマホを持っていない人はどうするの？ Fast Track 利用以外の検疫検査はあるの？ 疑問多い検査システムですが、無事入国するのが第一と割り切って、作業終了。

2. Heathrow から羽田へ

5月24日、いよいよ帰国の日が来ました。

搭乗手続きに時間がかかってはと、早めに空港に行くもカウンターは以前と同じ時間まで閉まったまま。並んでいる人数を見るとほんの僅か、早く開ける必要はないわけですね！

順番が回ってきて何時も通りの手続き開始、ここでスマホに登録している MY SOS 画面の提示を求められました。私のスマホでは問題なく表示できたのですが、家内のスマホ（機種が異なります）では入力手順が悪かったのか JAL スタッフが操作しても思うように表示ができず、結局 72 時間前陰性証明書を提示することに。何のための MY SOS かと疑問を抱きながらもまずは搭乗手続き完了。

時間が十分あるので免税店街に、ここは羽田とは大違いで全ての店が開いており、大勢の乗客が買い物をしていました。甥から教わった「胡瓜の香りのするジン、Hendrick's」を1本購入して BA のラウンジで休憩。このラウンジは以前から食べるものが殆どない単なる休憩室、アルコールは十分揃っていてもそう飲めるものではないし。言うなれば、空港内のパブ、そんな位置づけなのでしょう！

機内は往路と同じくまばらな乗客、航路が南回りと聞いているので往路同様に航路マップに注目。通常であれば、ロンドンから北に向かってスカンジナビア半島からロシア上空に入るのですが、今回は航路が南に、ドイツ上空からヨーロッパ大陸を南下してイスタンブールを経てここで東に進路変更、モンゴル高原、中国を経て日本海に。結局、ロシアの南北の国境沿いに飛行したのですね。いつもならば12時間弱の飛行時間がロシアのおかげで2時

間も余計な14時間半に、夕方6時前に羽田に無事着陸しました。



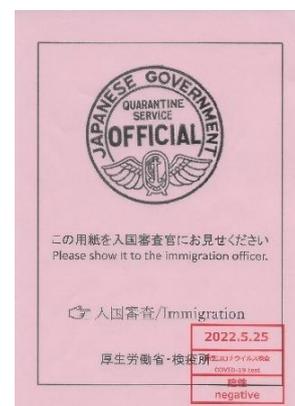
点線が以前の航路、機首は南を向いています



今回の「南回り」航路

3. 羽田での検疫検査

到着ゲートを出ると、空港ターミナル内にはロープが一面に張り巡らされ、特別検疫ゾーンまで整列して進むことが求められます。検査ゾーンにつくと、まず個別番号が付記された健康カードと問診票が配布され、氏名の記入を行います。次いで、抗原検査用サンプルとして唾液の採取、専用容器を渡されて仕切られたブース内で容器内の指示線まで唾液を溜めるのですが、これが大変。いつも意識していない唾液、一苦労して10cc程溜まった容器を提出してMY SOS 確認カウンターに移動。ここでは個人毎に登録内容とパスポートをチェックしたうえで、スタッフがスマホ内MY SOS を入国後の所在追跡モードに設定変更してくれます。スタッフが問診記入したチェックリストを提出してやっと一段落。いつもはトランジット手続き場として使われているロビーで検査結果が出るまで待機です。ここまで来るのにゲートを出てから1時間ほど、ロビーに設置されている画面に自分の番号が出るのをひたすら待つこと30分強、やっと特別検疫完了です。ピンクの陰性証明(右図)を受領して、いつもの入国審査ルートに戻って手続き継続。万歩計を見ると、この間にターミナル内を約2km歩いていました。



(拡大図を末に)

以上が Fast Track 手続きで、もし、My SOS 登録をしていないとどうなるのか、通路の途中でスマホと睨めっこしている外国人がいたのを思い出します。彼らの特別検疫がどうなったのかは知る由もありませんが…。

このMY SOS は入国後3日目に追跡解除するとの表示が出ました。入国時の隔離待機が解除されていたのでこの程度で済んだのでしょうか。コロナ最盛期に聞かされていた、入国審査の煩雑さ、入国後の隔離待機を思えば、はるかに楽な手続きでした

参考までに、昨年11月に帰国した友人の話では、入国審査に3時間以上、1週間のホテル隔離では一歩も部屋から出られず、毎日3度の食事は部屋の前に届けられる弁当、この弁当を取るためにドアを開ける際にもマスク着用義務があったそうなの！

6月1日からは、このような煩雑な入国検疫検査は解除されたようですが、出国72時間前のPCR検査、及び、My SOSの事前登録は残っている様です。

早くこのような入国審査が無くなって、気持ちよく渡航ができることを願っています。

それでは、次回からロンドン滞在中の出来事、見聞録を紹介させていただきます。

(参考) 英国内向け PCR 陰性証明書

DAM
HEALTH

NAAT (RT-PCR) TEST CERTIFICATE
COVID-19 (SARS-CoV-2)

Patient Surname: Tomii
Patient Forename: Toshihisa
Date of Birth: 22/07/1947
Address: 2-13-2, Yamato-Cho, Nakano-ku, 1650034, Japan
Passport Number: ██████████



CLINICAL PATHOLOGY : COVID-19 (SARS-CoV-2) RESULT

Test Type: NAAT (RT-PCR) Test **Test Name:** Clarigene
Test Manufacturer: Yourgene Health
Test Sample Date: 22/05/2022 **Test Sample Collection Time (24h):** 11:00

RESULT OF TEST: **Negative / Non-Detected**

Please Note - All our tests are administered by a trained health care practitioner in one of our DAM Health clinics.

ADMINISTERING HEALTHCARE FACILITY

Test Centre / Facility: DAM Health Clinic - London Kilburn Clinic
Address: 134 Kilburn High Road, London, NW6 4JD, United Kingdom
Member State / Third Country conducting the test: NA
Certificate Issuer: Dam Health
Contact Number: +44 330 1742 200

- Your coronavirus (COVID-19) test result is negative. It's likely you were not infectious when the test was done.
- If you develop symptoms of coronavirus, it is advised that you take a PCR test. If you have any of the main symptoms the public health advice is to avoid contact with other people where possible.
- For more information visit <https://www.gov.uk/coronavirus>
- If you do not live in England, please follow and adhere to your local government rules regarding travel abroad and returning home:

SCOTLAND **WALES** **NORTHERN IRELAND**

<https://www.gov.scot/coronavirus-covid-19/> <https://gov.wales/coronavirus-travel> <https://www.nidirect.gov.uk/articles/coronavirus-covid-19-travel-advice>

Yours Faithfully,
Franklin Joseph
Professor Franklin Joseph MBBS, MD, FRCP
GMC No: 5204695

(参考) PCR 検査陰性証明書 日本政府指定書式



Quarantine Station,
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japanese Government

COVID-19 に関する検査証明
Certificate of Testing for COVID-19

交付年月日
Date of issue 2022/05/22

氏名 氏名
Name Toshihisa Tomii, パスポート番号
Passport No. [REDACTED]
国籍 国籍
Nationality Japanese, 生年月日 生年月日
Date of Birth 1947/07/22, 性別 性別
Sex Male

上記の者の COVID-19 に関する検査を行った結果、その結果は下記のとおりである。
よって、この証明を交付する。
This is to certify the following results which have been confirmed by testing
for COVID-19 conducted with the sample taken from the above-mentioned person.

採取検体 Sample (下記いずれかをチェック /Check one of the boxes below)	検査法 Testing Method for COVID-19 (下記いずれかをチェック/Check one of the boxes below)	結果 Result	①結果判明日 Test Result Date ②検体採取日時 Specimen Collection Date and Time	備考 Remarks
<input checked="" type="checkbox"/> 鼻咽頭ぬぐい液 Nasopharyngeal Swab	<input checked="" type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (RT-PCR 法) Nucleic acid amplification test (RT-PCR)	<input checked="" type="checkbox"/> 陰性 Negative	① Date (yyyy / mm / dd) 2022 / 05 / 22	
<input type="checkbox"/> 鼻腔ぬぐい液*2 Nasal Swab	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (LAMP 法) Nucleic acid amplification test (LAMP)	<input type="checkbox"/> 陽性 Positive → 入国不可 No entry into Japan	② Date (yyyy / mm / dd) 2022 / 05 / 22 Time AM PM 11:00	
<input type="checkbox"/> 唾液 Saliva	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TMA 法) Nucleic acid amplification test (TMA)			
<input type="checkbox"/> 鼻咽頭ぬぐい液と咽頭 ぬぐい液の混合 Nasopharyngeal and oropharyngeal swabs	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TRC 法) Nucleic acid amplification test (TRC)			
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (Smart Amp 法) Nucleic acid amplification test (Smart Amp)			
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (NEAR 法) Nucleic acid amplification test (NEAR)			
	<input type="checkbox"/> 次世代シーケンス法 Next generation sequence			
	<input type="checkbox"/> 抗原定量検査*1 Quantitative antigen test (CLEIA/ECLIA)			

*1 抗原定性検査ではない。

Not a qualitative antigen test.

*2 鼻腔ぬぐい液検体は核酸増幅検査のみ有効

Nasal Swab is valid when the test method is Nucleic acid amplification test.

医療機関名 Name of Medical institution DAM HEALTH

住所 Address of the institution 1 ROSE LANE, LIVERPOOL L18 8ES

医師名 Signature by doctor

Professor Franklin Joseph
MBBS, MD, FRCP
Global Medical Director
DAM Health
PHE Lab ID: 914
GMC: 529695

(参考) MY SOS アプリ (厚生省ホームページより)



(参考) 入国審査 「陰性」証明書

